

平成29年度 指定管理施設の管理運営評価表

担当室 地域経営室

1 管理運営の状況等

(1) 施設名	名張市赤目市民センター
(2) 指定管理者 (名称、所在地)	別紙 資料1のとおり
(3) 施設の利用実績 (利用者数、事業内容等)	別紙 資料2のとおり
(4) 市支出額	別紙 資料3のとおり
(5) 管理運営の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センターの利用の許可に関すること ・市民センターの施設及び設備器具の維持管理に関すること ・名張市市民センター条例第2条に掲げる事業に関すること ・その他名張市が別に定める業務

2 提案内容の達成状況 (特記事項)

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
平等利用の確保、利用者サービス向上の取組	「公立性・中立性の確保」、「インターネットを活用した情報提供」、「障害者・高齢者等に配慮した事業の実施」及び「地域の実情に応じた弾力的運営」について提案があったが、利用者アンケート、指定管理者による自己評価を基にチェックが行われ、また積み残しの課題もないことから、提案どおり達成されている。
施設効用の最大限発揮 (利用促進、利用者増など)に向けた取組	「市民センターだより・インターネット等による参加者募集」、「関係団体等との連携」、「主催講座・学級の実施」、「利用者アンケートの実施」等について提案があったが、業務報告書及び現地立ち入り調査の結果、提案どおり達成されている。
施設の適切な維持管理及び経費節減への取組	「施設の定期的確認」、「清潔の保持」、「役員会等による業務点検」、「第三者の活用による保守点検等」、「防犯防災マニュアルの整備」、「緊急体制の確保」、「経費節減努力」等について提案があったが、業務報告書及び現地立ち入り調査の結果、提案どおり達成されている。
施設管理を的確に行う 人員配置・職員研修等への取組	「生涯学習責任者及び事務員の配置」、「研修会への参加」、「他の市民センターとの情報交換・交流」等について提案があったが、事務員は協定書付属の業務仕様書の配置基準以上に配置されており、研修会等にも積極的な参加実績があることから、提案どおり達成されている。

管理運営の成果

生涯学習活動の適正な支援が行われているか	地域づくりに関わる学習機会として人権、防災、子育て、歴史の分野での講座が継続的に実施され学習活動への支援がなされている。地域に根ざしたテーマが掲げられ、特にウォーキングやトレッキングには多くの参加がある。
地域づくりの拠点(住民の居場所として住民の活動の拠点)としての役	親睦を目的に「ふれあいさろん」、「サンサンカレー(昼食会)」を開催するほか、「ひとり暮らし高齢者の集い」、「忍たま広場」、「青少年育成部会の諸活動」など特定の世代を対象とした事業や「市民センターまつり」、「歴史勉強会」など世代を超えた事業を実施しており、多数の住民が

割を果たしているか	市民センターを訪れ、地域づくり活動の拠点として活発に利用されている。また、「ふるさとウォーク in あかめ」や「竜神山トレッキング」には、地域外の人でも多数参加しており、赤目の自然や歴史に触れる機会を提供するとともに、地域内外の住民同士の交流が積極的に図られている。
-----------	---

3 施設設置者（名張市）の総合評価

赤目地域においては、自然や歴史・文化などの地域資源が多く、これらの資源を活用したさまざまな事業が展開されている。子どもから大人、高齢者を対象とした各事業や、世代を超えた住民交流のための各種イベントの実施など、地域の活性化が図られている。

さらに、総合福祉支援事業として、日常生活支援、移動・外出支援サービスの提供により、住み慣れた地域で安心して暮らしているシステムの構築について、種々検討がなされ新年度からスタートする運びとなり、今後、これらの事業が持続可能なものとなるように、住民満足度を高める工夫をするとともに、担い手の育成について検討されたい。